

2012年12月期中間決算説明会

AMITA

「思考するカンパニー」

アマタホールディングス株式会社

～本日のプログラム～

志 事業で未来をデザインする。
～裕福さから豊かさへ～

財 2012年度上期決算説明
～経済なき道徳は寝言である～

実 2012年度上期進捗報告
～無駄なものなどこの世に無い～

行 アミタの「共感資本戦略」
～持続可能な産業創造の戦略～

事業で未来をデザインする。

～裕福さから豊かさへ～

アマタホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長 熊野英介

AMITA

物がこんなに捨てられて行くなら
オイラ、拾ってきて生き返らせてやる！
だって、絶対失礼じゃねえか
捨てられちまうそういう物に
それを懸命に作った方々に
あんたの親爺さんが汗水たらして作ったものを
あんた簡単に捨てられるか？え？

～「北の国から」黒板五郎の言葉～

企業の社会的役割とは？

企業の社会的役割とは何か？
企業の存在価値とは何か？



社会ニーズに事業で応え
この世に新たな価値を生み出すこと

課題先進国、日本の現状

- ▼14年連続、自殺者が3万人を越える
- ▼家族以外と積極的に付き合わない人の比率、OECD諸国中、1位
- ▼日米中韓の高校生を対象にしたアンケートで「自分は価値ある人間だ」と思う割合、最下位（米国90%弱、韓国80%弱、日本36%）
- ▼エネルギー自給率、4%（原子力除く）
- ▼化石燃料の輸入額、年間約20兆円
- ▼食糧自給率39%、食品廃棄量、年間1940万トン
残飯総額、年間11兆円（家庭からの排出）
- ▼木材自給率26.6%.....。



**このままでは、未来の子供たちの尊厳を
守ることができない。**



Some rights reserved. Creative commons by fakeivis



Some rights reserved. Creative commons by ellbrown

時代が求める、真の社会ニーズとは？

「貨幣的裕福さ」は、うたかたの市場ニーズ。

「**関係性のゆたかさ**」こそ、**永遠の社会ニーズ**である、という仮説。

人間関係資本の良関係

人は孤独を恐れる生き物。

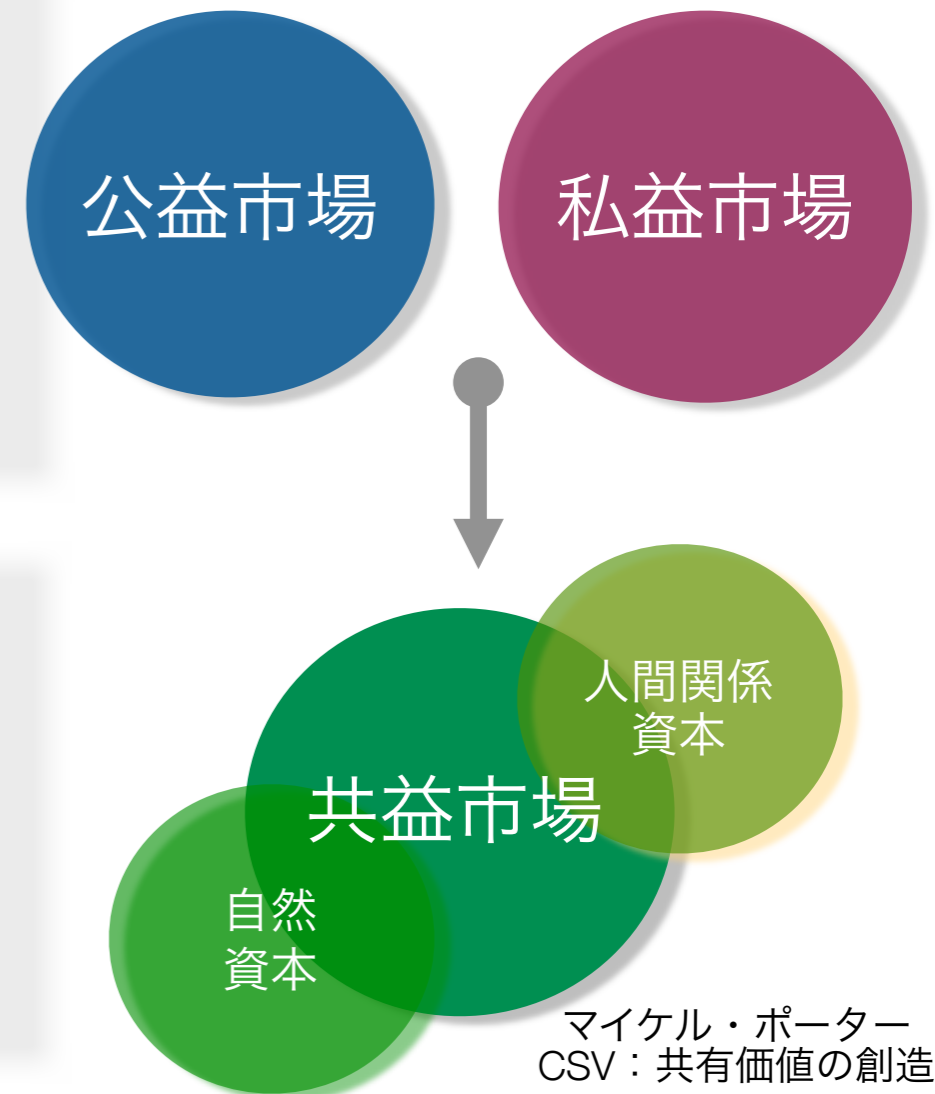
人のために何かをし、他者との良関係によって
満足感を覚えたいという利他的欲求は、人間の本能。

自然資本の良関係

豊かな人生には、自然の恵みが必要不可欠。

水、土、大気、鉱物、動物、植物、昆虫、微生物...

これら自然資本は、丁寧に扱えば、活用しても増幅する。



未来をデザインする、時代作りの挑戦者として ～未来の子供たちの尊厳を守るため、我々がすべきこと～

アミタグループは、「持続可能な社会の実現」を目指す、
未来デザイン企業です。

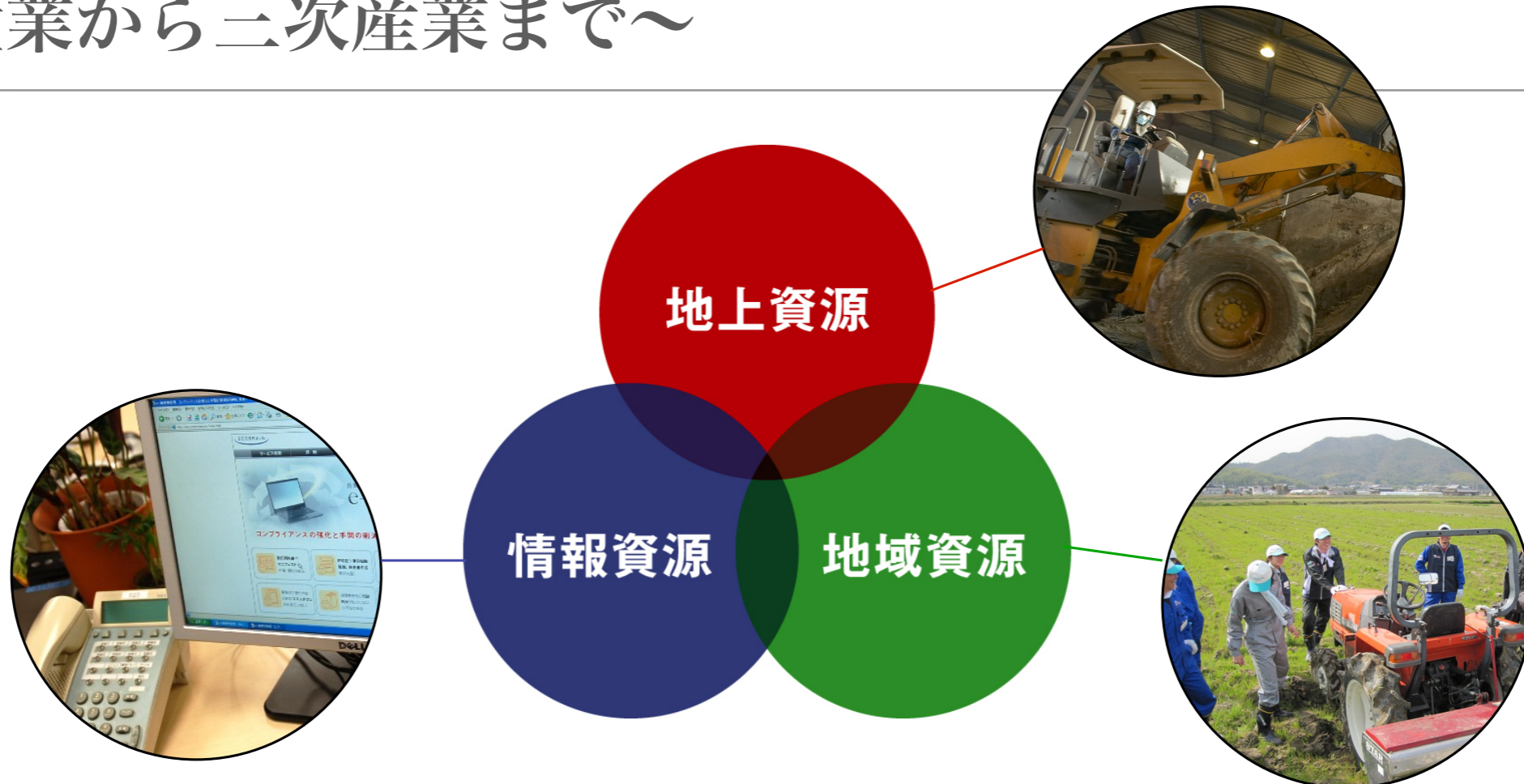
私たちは、**時代作りの挑戦者**として、
発展すればするほど
人と自然と社会の関係性が豊かになる、
価値の連鎖（バリューチェーン）の構築を
ミッションとしています。

バリューチェーンとは？

原料調達・製造・流通・販売・廃棄といった生産活動のすべての行程において
環境価値を増大させる**価値連鎖の仕組み**。主活動とそれを支える支援活動に分類される。

アミタグループの3つの事業

～一次産業から三次産業まで～



情報資源

CSR・環境部門の仕事は「未来のリスクを低減すること」だといえます。人、自然、社会に対する様々なリスクを管理し、低減するため、アミタグループは「情報」をキーワードに環境認証、環境マーケティング、業務効率化支援などのサービスを提供しています。

地上資源

アミタグループでは、「無駄なものなどこの世にない」をモットーに、1977年の創業以来、廃棄物を100%再資源化する事業を行っています。また、複雑な廃棄物管理業務の法と実務を全面的にご支援するコンサルティングサービスを実施しています。

地域資源

アミタグループは、産業が発展するほど自然が回復し、人と人とのつながりが深まる社会モデルの構築を目指しています。地域の個性を活かしてその価値を高める地域プロデュースや、都市と地域の人材マッチングなどのサービスを提供しています。

バリューチェーンを生み出すサービス

～人、自然、産業、そのすべてを持続可能にするために～



価値ある、製造・物流・商品開発・サービス・販売・ブランディング

主
向け
サ
ー
ビ
ス
動

地上資源製造

地下資源の保全
無駄→価値の転換

資源オペレーション

資源循環促進
物流の最適化

自然産業の創出

自然資本の増幅
地域固有の価値の可視化

マーケティング支援

環境情報の発信
環境市場開拓

エネルギー製造

地産地消エネルギー
地域の自立・防災

CSR支援サービス

持続可能な企業作り
産業と環境の両立

価値ある、企業インフラ・人材資源管理・技術開発・調達

支
援
サ
ー
ビ
ス
動

環境管理システム提供

input・output管理
事務コストの削減

環境認証事業

適正な資源調達・流通
消費者への選択権提供

研修・教育支援

人材育成
企業の意識改革

研究開発・技術連携

再資源化技術開発
自然資本活用研究

2012年度上期決算説明

～経済なき道徳は寝言である（二宮尊徳）～

アマタホールディングス株式会社
取締役 清水太郎

AMITA

決算ハイライト



● 第2四半期 前年同期比較

(単位：百万円)

	11年12月期 第2四半期累計	12年12月期 第2四半期累計	増減
売上高	2,562	2,249	▲313
営業利益	71	46	▲25
経常利益	163	57	▲106
四半期純利益	100	41	▲58

● 第2四半期 当初業績予想比較

(単位：百万円)

	2012年12月期 当初予想	12年12月期 実績	増減
売上高	2,559	2,249	▲310
営業利益	67	46	▲21
経常利益	58	57	▲1
四半期純利益	55	41	▲14

セグメント別売上高と営業利益



●セグメント別売上高比較

(単位：百万円)

	11年12月期 第2四半期 実績	12年12月期 第2四半期 実績	前年差
売上高	2,562	2,249	▲313
地上資源事業	2,159	2,083	▲76
環境ソリューション事業	246	170	▲76
自然産業創出事業	161	—	—
セグメント間調整	▲5	▲4	—

●セグメント別営業利益比較

(単位：百万円)

	11年12月期 第2四半期 実績	12年12月期 第2四半期 実績	前年差
営業利益	71	46	▲25
地上資源事業	246	55	▲191
環境ソリューション事業	▲24	▲8	+16
自然産業創出事業	▲149	—	—
セグメント間調整	—	—	—

*自然産業創出事業は2012年12月期現在休止中のため当該期間の実績は記載しておりません。

貸借対照表

●前期末比較

(単位：百万円)

		前連結会計年度	12年12月期第2四半期	増減
	流動資産	1,801	1,966	+165
	固定資産	2,261	2,164	▲96
	資産合計	4,062	4,130	+68
	流動負債	1,915	1,829	▲85
	固定負債	1,570	1,681	+111
	負債合計	3,485	3,510	+25
	資本金	474	474	0
	資本剰余金	407	408	0
	利益剰余金	▲305	▲263	+41
	自己株式	0	0	0
	純資産	576	619	+43
	負債純資産合計	4,062	4,130	+68

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	11年12月期 第2四半期	12年12月期 第2四半期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	▲8	▲8	0
投資活動による キャッシュ・フロー	▲49	13	+63
財務活動による キャッシュ・フロー	▲145	239	+385
現金及び現金同等物 の増減額	▲203	243	+447
現金及び現金同等物 の四半期末残高	536	1,104	+568

2012年度上期事業進捗報告

～ 無駄なものなどこの世に無い～

アマタホールディングス株式会社
常務取締役 杉本憲一

AMITA

上期総括と実績 「地上資源事業」



● 再資源化ビジネスの取り組み

● 既存・新規案件の概観

- 東日本大震災の影響による既存取引への影響
- スポット取引の減少
- 北九州製造所2011年に黒字化

● 海外事業への取り組みその他

- 台湾台南市における市場開拓
- グリーン電力証書の発行

● 姫路循環資源製造所20周年キャンペーン

- 記念キャンペーン（7/24-10/31）による既存深耕、新規獲得

● 東北震災復興・瓦礫処理事業関連

- 岩手県釜石市、宮城県石巻市、気仙沼市など



台南市調印式



震災後の岩手県釜石市

上期総括と実績 「情報資源事業」

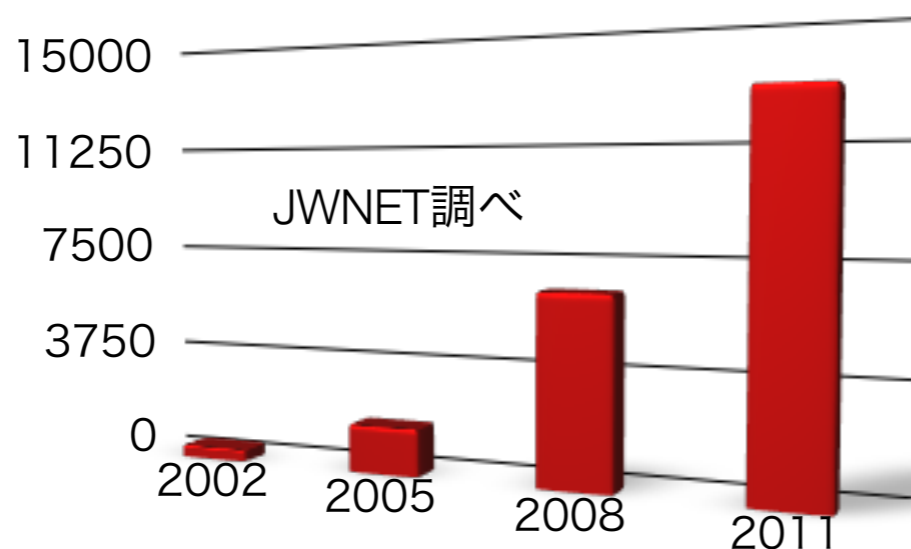


● 廃棄物管理システム 「e-廃棄物管理」 導入実績

149社・619事業所 (12年6月末現在)

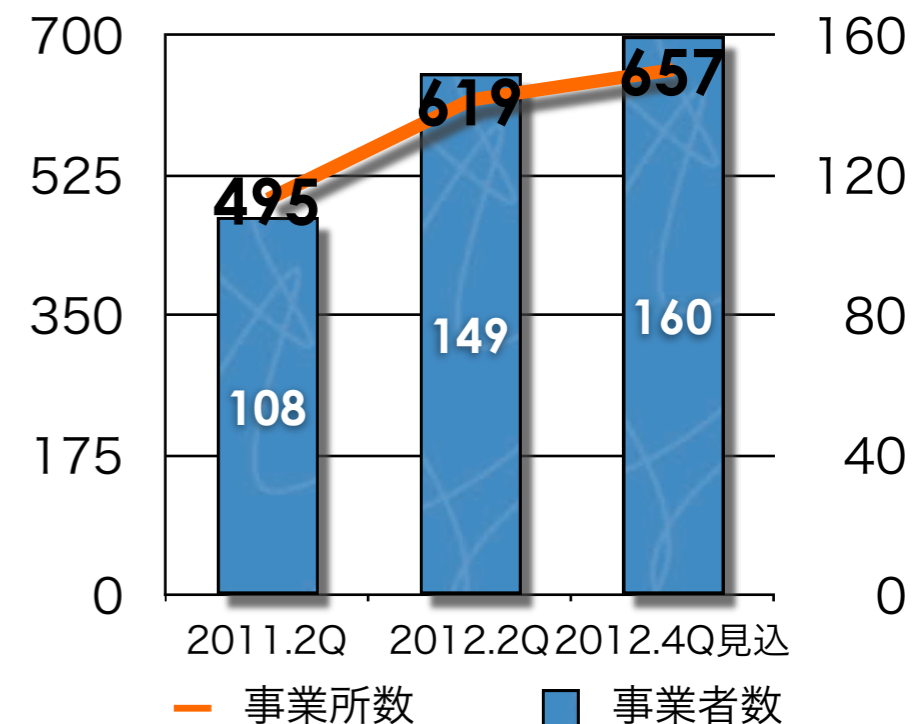
【導入理由のトレンド】

- ・ 電子マニフェスト導入に合わせて管理を電子化
- ・ コンプライアンス要求レベル向上による管理体制強化
- ・ 電子マニフェスト登録件数が、40万件から1200万件に



< 参考：電子マニフェスト登録件数の伸び（単位：千・年間） >

利用事業所・事業者数の推移



紙マニフェストの電子化が課題

AMITA

上期総括と実績 「情報資源事業」

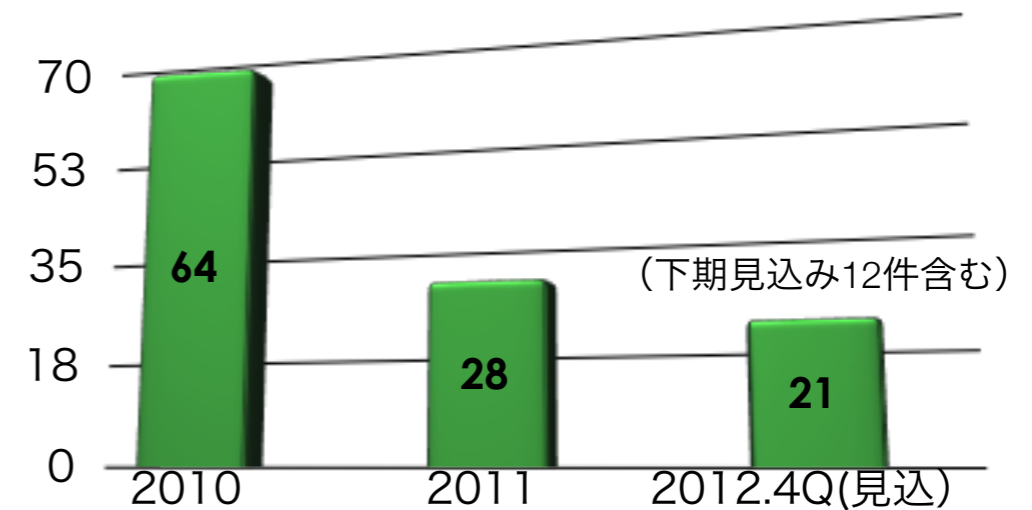


● 環境認証サービス

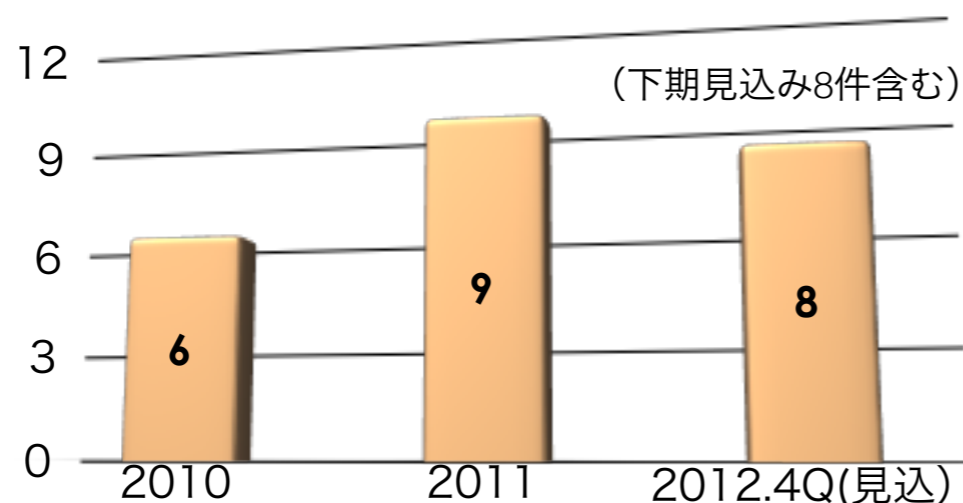
● 森のエコラベル、FSC®森林認証の実績

- ・ 2011年度以降は震災の影響もあり実績の伸張は鈍化傾向にある
- ・ プロジェクト認証取得等新たな動きもみられる

～FSC COC認証の新規顧客獲得実績～



～MSC COC認証の新規顧客獲得実績～



● 海のエコラベル、MSC認証の実績

- ・ 2011年度以降は震災の影響もあり実績の伸張は鈍化傾向にある
- ・ 日本で漁業管理認証審査が行われており、今後市場の広がりの可能性が考えられる

株式会社アミタ環境認証研究所は、FSC認定認証機関Soil Association WoodmarkおよびScientific Certification Systemsと提携しFSC認証審査を実施しています。

上期総括と実績 「情報資源事業」



● CSR支援サービス

● CSRレポート比較サイト『CSR JAPAN』

● メディアとしての拡大：

- 掲載企業数：開始1年で120社、1年半で175社
- CSR担当者向けメールマガジン登録者数 約1,900人

● 関連サービスの受託：

- 飲料品メーカーのCSR社内研修受託
- CSR支援研修（行政より受託）
- 環境報告書作成支援業務受注
- 有料CSRセミナーの開催と参加者増

上期総括と実績 「地域資源事業」



● 南三陸町での取り組み

- 「森・里・海の未来デザインプロジェクト」
 - 森林資源活用
(木質バイオマスエネルギーに係る実証調査業務)
 - 環境共生型農業による自然産業の創出
(「未来の種プロジェクト
南三陸町 森・里・海ものがたり」)
 - NTTドコモとの連携



● その他の地域での取り組み

- 被災地における漁業者雇用支援講習
- 地域おこし協力隊コーディネート事業
- 農作物流通促進支援事業
- 都市農村交流推進事業等



上期総括と実績 「地域資源事業」



● 南三陸町における環境共生型農業による自然産業の創出

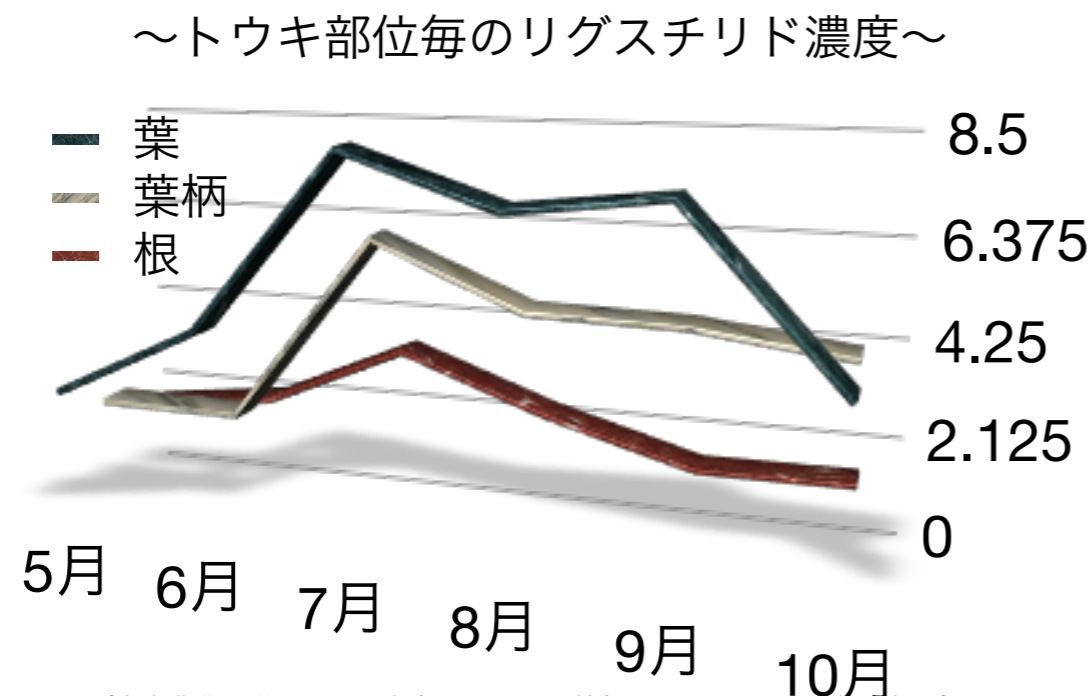
地域資源を活かした持続可能な循環型自然産業をつくり、コミュニティの創出をはかる

【薬草トウキの無農薬栽培事業】

- ・ 中国からの輸入制限
- ・ 国内で、高品質で安全な薬草へのニーズの高まり
- ・ 3年前から千葉大学と薬草の育種育苗栽培技術開発を開始。根利用から葉・茎の利用へ

【環境共生型米作り】

- ・ 宮城県発祥のササニシキは味がよく人気を博したにも関わらず、機械化や化学肥料に頼った近代型農業手法では「育てにくい」ため減産。
- ・ 震災からの復興とともに、ササニシキを“地域の誇り”として復興させる。



上期総括と実績 「地域資源事業」



森、里、海の未来デザイン

南三陸町での復興事業



総合環境ソリューションへの発展



● 総合環境ソリューション推進グループを新設

地上資源事業、リスクコンサルティング、廃棄物管理、環境認証、CSR支援サービス等の環境経営支援サービスを統合して提供

● 輸送用機械器具製造業 A社

- 1st. 廃棄物処理リスク診断サービス
- 2nd. 廃棄物管理システムの導入
- 3rd. リサイクル提案の実施

● 飲料品製造販売グループ B社

- 1st. 廃棄物関連コンサルティングサービス
- 2nd. 廃棄物管理システム導入
- 3rd. 廃棄物管理関連研修
- 4th. CSR関連研修



アミタの共感資本戦略

～持続可能な産業創造の戦略～

アミタホールディングス株式会社
常務取締役 藤原仁志

AMITA

持続可能型産業への転換 ～グリーンエコノミーの進展～



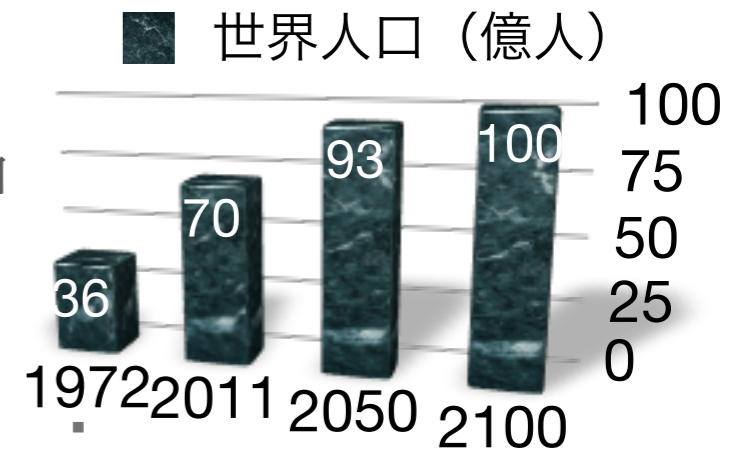
●新たな制約：

一人の一生のうちで人口が3倍になる世の中にすんでいる。新興国の人口急増による消費の加速が資源争奪を生んでいく。



●自然資本中心の新経済へ：

人工資本を重視し、自然資本を劣化させてきた経済から、自然資本（特に再生可能資本）を増加させる持続可能な経済への転換が待ったなし。



●資源効率社会と自然資本への投資：

自然資本から受け取る財やサービスの利用効率性を高め、より少ない資源からより多くの価値を得るイノベーションが不可欠。また、森林や土壌、漁業資源、水資源などの自然資本への投資を増加させ、その質と量を高める。



●生産抑制から市場規制へ：

人工資本重視の経済が、生態系の破壊を生み、さまざまな法的規制をかけた。従来の公害対策における「生産抑制」の動きから、非関税障壁としての環境規制など「市場規制」に発展している。課題は、これを企業が超えられるかにある。

環境対策市場から環境創造市場へ ～これまでの環境市場の限界～



● 企業の環境投資・コストの変化

(単位：億円)

日立製作所の環境投資・コスト変化		2006	2007	2008	2009	2010
費用	事業所エリア内費用 環境負荷低減設備の維持管理費、減価償却費など	392.4	397.2	333.1	282	279.8
	上・下流費用 グリーン調達、製品・包装回収、再商品化、リサイクルに関する費用	28.9	27.9	19.7	17	16
	管理活動費用 環境管理人件費、環境マネジメントシステムの運用・維持管理費用	103.1	113	112	89.2	86.1
	研究開発費用 製品・製造工程の環境負荷低減の研究開発および製品設計に関する費用	416.6	466.3	502.5	528.1	575.6
	社会活動費用 緑化・美化などの環境改善費用	12	4.8	3.5	2.5	3.1
	環境損傷費用 環境関連の対策費、拠出金、課徴金	28.9	8	9.9	6.8	3.7
	費用合計	981.8	1017.2	980.6	925.6	964.4
投資	投資合計 省エネ設備など直接的環境負荷低減設備への投資	154.8	153.8	101.7	79.5	76

(日立製作所「環境会計報告」より作成)

● 環境ビジネス市場の変化

生産効率重視（価格選好市場） → 「リスク」と「コスト」対応が中心
 グリーンエコノミー（環境価値市場） → 生き残りをかけた価値創造競争へ



環境対策市場から環境創造（持続可能社会創造）市場へ

法人取引から組織内個人の共感醸成へ ～BtoBから、人と人とのPtoPへ～



- アミタグループの共感資本戦略：

コスト・リスク低減対策偏重から、経済性および社会・環境
ニーズの両方を満足させるアプローチへの転換



組織内個人における利他的・利己的欲求双方を満足させること
によって、結果として企業利益および社会貢献を促進する。

自然資本と人間関係資本の増加に資する事業のみを行う

- 社会的企業は、ミッション達成を最優先する

ミッション達成優先は、社会的企業の弱点ともいえるが、ステークホルダーの
強い共感を得られる場合は、強力な支援者・顧客となりえる

■ ベン&ジェリーズ・ホームメイド

■ ザ・ボディショップ

■ パタゴニア

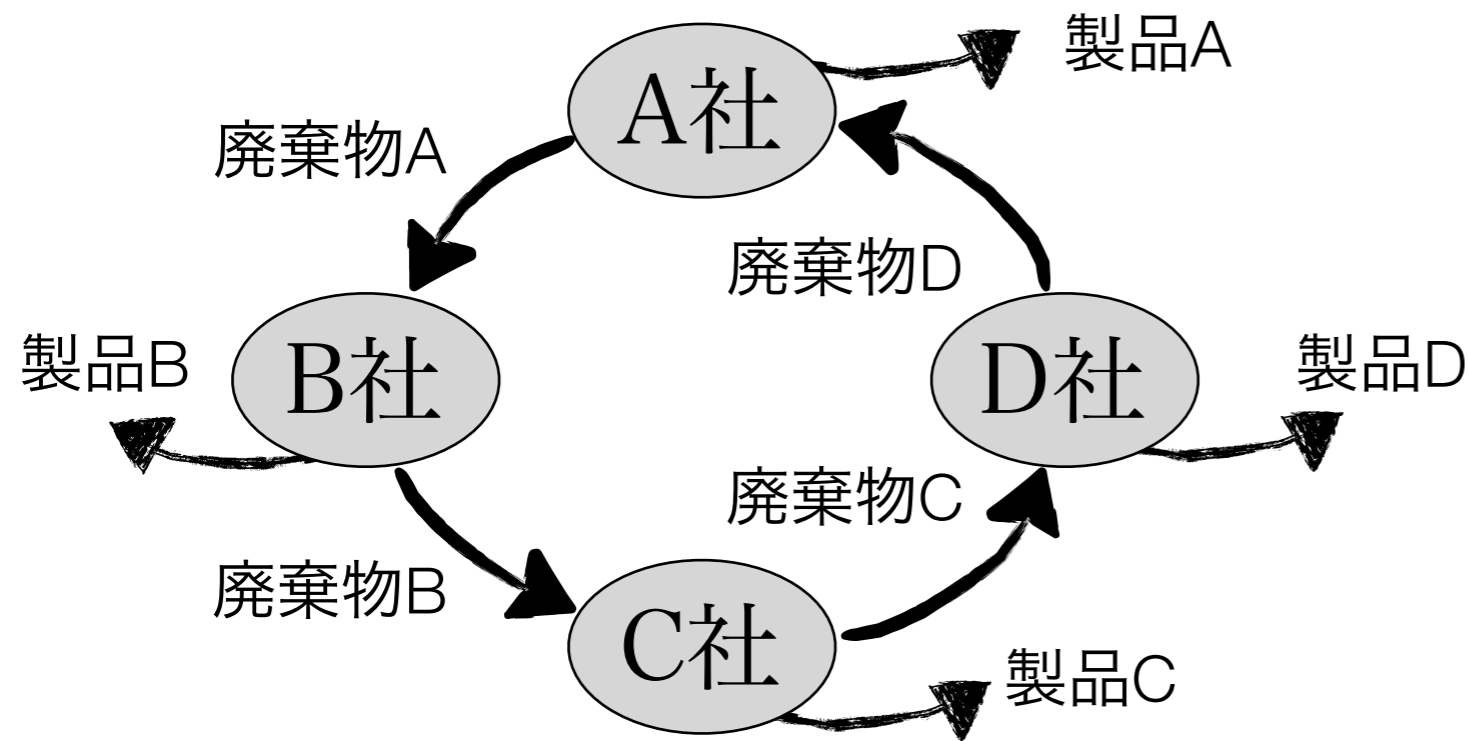
持続的産業と社会のプラットフォーム

～価値の連鎖＝「バリューチェーン」～



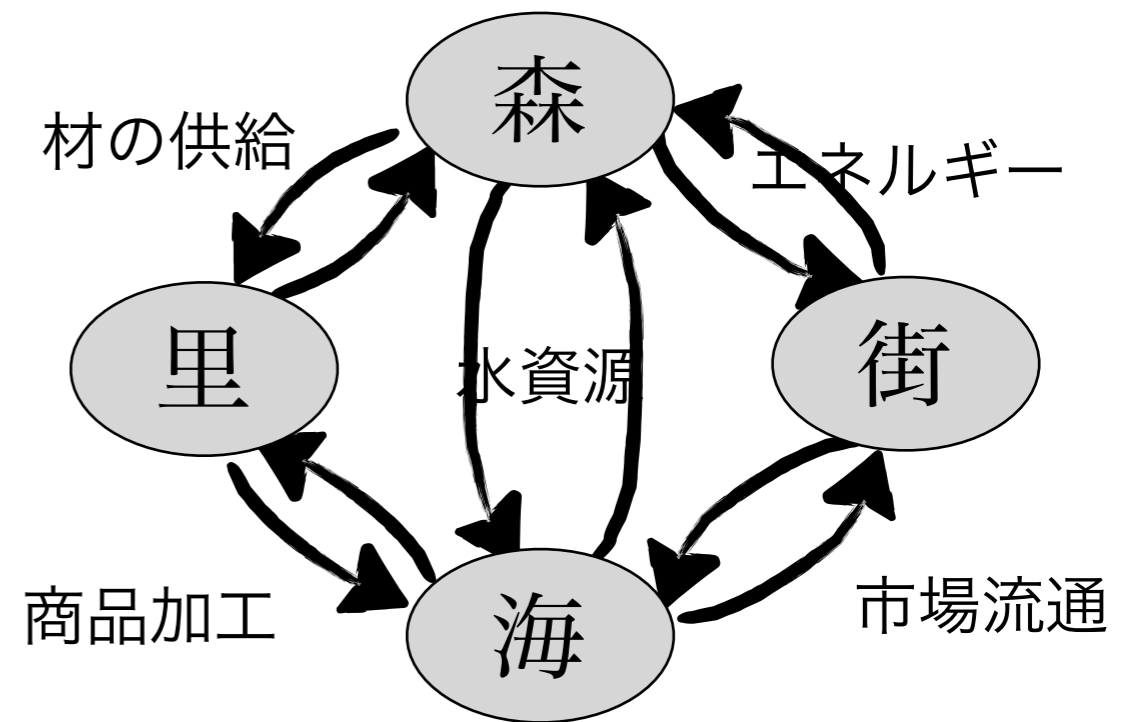
•3つの資源事業における価値連鎖

～地上資源事業の価値連鎖～



A社のアウトプットが、B社のインプットに…

～地域資源事業の価値連鎖～



森のアウトプットが、里のインプットに…

商流・物流・調達・営業をささえる情報プラットフォーム

～情報資源事業による価値連鎖～

発展するほど、社会貢献できる事業

～1トン再資源化すれば、その分資源が救われる～

～顧客が増えれば、その分社会ニーズが顕在化する～

AMITA

「思考するカンパニー」

ありがとうございました。

アマタホールディングス株式会社

IR担当窓口

TEL : 075-277-0795 (京都本社)

FAX : 075-255-4527

email : info@amita-net.co.jp

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2012年8月21日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。